

志賀原子力発電所2号機における 漏えいした燃料集合体を特定するための検査の終了について

平成21年7月28日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所2号機において、本日（7月28日）、全ての燃料集合体（872体）に対する「漏えいした燃料集合体を特定するための検査¹」を終了し、漏えいした燃料集合体が、7月21日にお知らせした1体のみであることを確認しましたので、お知らせします。

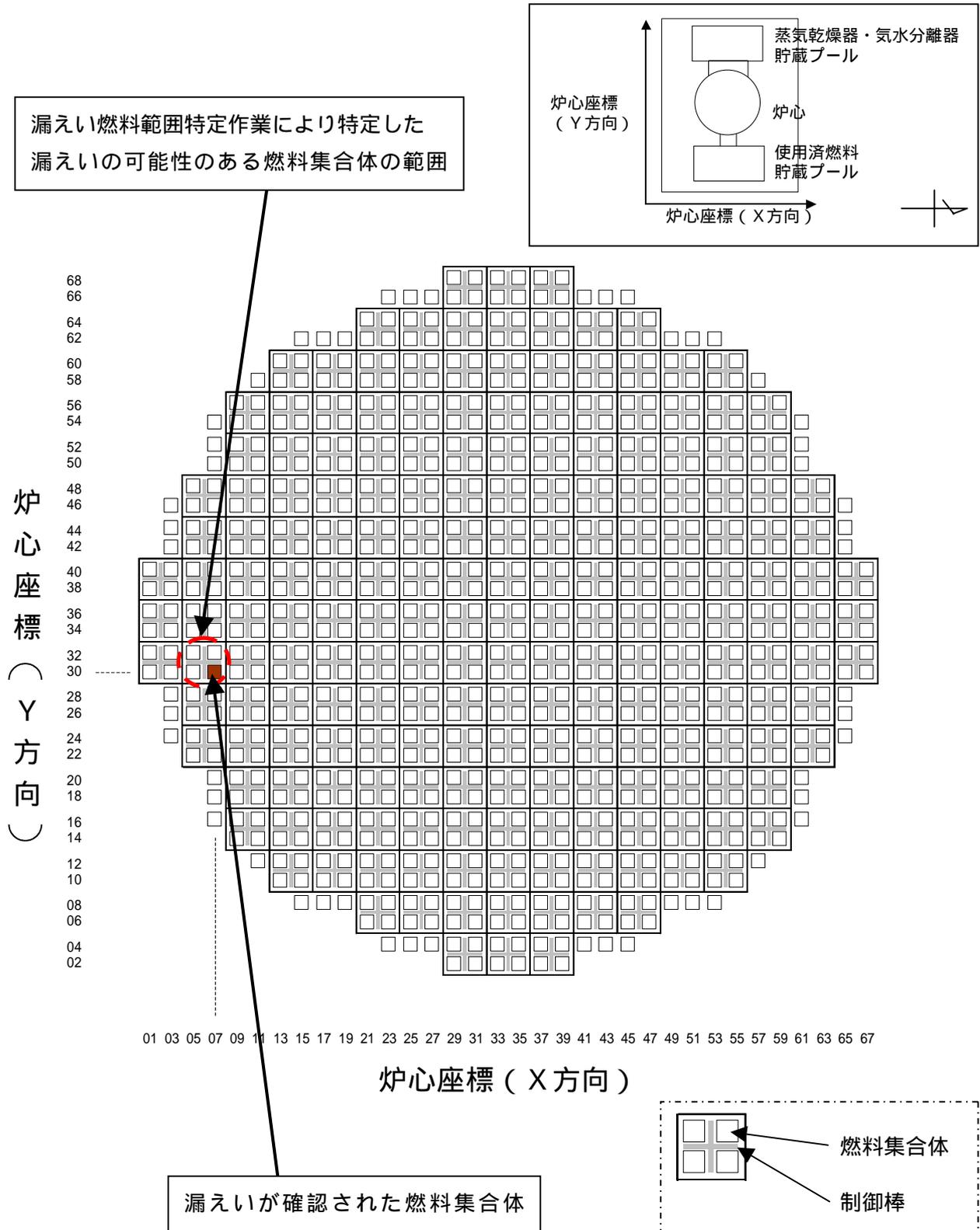
漏えいが確認された燃料集合体は、引き続き、詳細に外観点検等²を実施して漏えい原因を調査したうえで、使用済み燃料とし、新しい燃料集合体に取り替えることとします。

以上

添付資料：志賀原子力発電所2号機 漏えいした燃料集合体の場所について

- 1 漏えいした燃料集合体を特定するための検査（ SHIPPING検査）
燃料集合体を炉内の装荷位置から上昇させると水圧が低下（変化）するため、燃料棒に破損がある場合は、放射性希ガスが原子炉水中に放出される。この原子炉水を採取し放射性希ガスの量を測定することにより漏えいした燃料集合体を特定できる。
- 2 外観点検等
水中カメラによる外観検査、超音波検査による漏えい燃料棒の特定、ファイバースコープによる漏えい箇所の状態を調査する。

志賀原子力発電所 2号機 漏えいした燃料集合体の場所について



・座標07 - 30 (制御棒06 - 31の近傍)で漏えいした燃料集合体1体を確認